

Q：寒冷地仕様の装備を教えてください。

寒冷地仕様が標準装備となります。
寒冷地に対応した主な装備は、下表のとおりです。

装 備	説 明
冷却水（LLC）50%	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうと考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。濃度を50%ですと 約-35度ぐらにならないと凍結しません。
ウインドシールドデアイサー（ワイパーデアイサー）	雪だまりや 凍結によりワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。（ 下図1参照 ）
ウインドシールドワイパー（モーター強化）	ワイパーモーターが寒冷地用で強力です。
フロントヒーター（PTCヒーター）	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う装置（電気式補助ヒーター）です。エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房がききます。
ビスカスヒーター	エンジン駆動による補助暖房システムです。エンジンの動力を使って ビスカス（粘性物質）を掻き回して発熱させ、室内暖房に利用します。
リヤヒーターダクト	後席の暖房効果に貢献するため、リヤシート足下に温風を送るためのダクトを設定しています。（ 下図2参照 ）
バッテリー（大型）	大型バッテリーを装備しています。
スターター（強化）	エンジンの始動性を向上するため 強化したスターターを装備しています。
リヤフォグランプ	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。右側のみ装着されます。（左側はバックアップランプです。）（ 下図3参照 ）
ドアミラー（ヒーター付き）	ドアミラーを暖めて霜・露・雨滴を取り除くためのヒーターが付いています。
凍結防止ドアウェザーストリップ	水や埃、振動、音などを遮断するために取り付けられているドアウェザーストリップが、融雪水の再凍結によって凍結することを軽減するためにドアウェザーストリップの途中にダムを設定しています。このダムで水をせき止めて車外へ放出する効果を狙っています。
カウルルーバー	カウルルーバー（フロントガラスとボンネットの間のパネルでワイパーの下あたりの外気導入口）部に雪が入ることを防止するため、ステンレス（SUS）製ネットが装備され、雪入りを防止します。外観上は、分かりにくいですが、外から見てわかります。
防錆処理	寒冷地での融雪剤を考慮し錆びないようにボデーや下回りに防錆（ぼうせい）処理を施しています。

<上記以外でおすすめの装備>

装 備	説 明
ウィンターブレード*	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

*ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。

